

ご存知ですか？！

タバコの煙は「PM2.5」よりさらに危険！

PM2.5とは、大きさ(直径)が $2.5\mu\text{m}$ (マイクロメートル)以下の微小な粒子状の物質のこと

※ μm (マイクロメートル) : mm の 1/1000

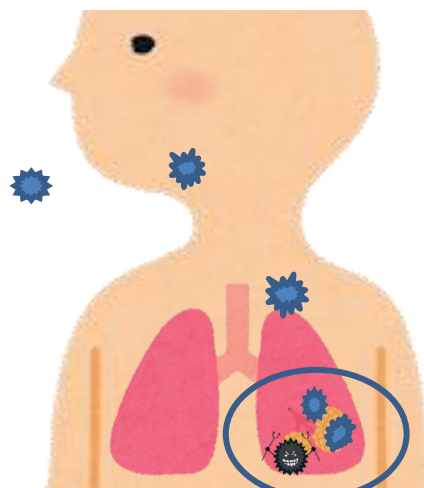


危険理由
その1

喫煙は毎日の習慣

大気汚染のPM2.5が体に危険を及ぼすのは、高濃度な日に限られています。一方、タバコは毎日の習慣であり、一気に高濃度の煙を吸うことから、PM2.5よりはるかに危険です。

危険理由
その2



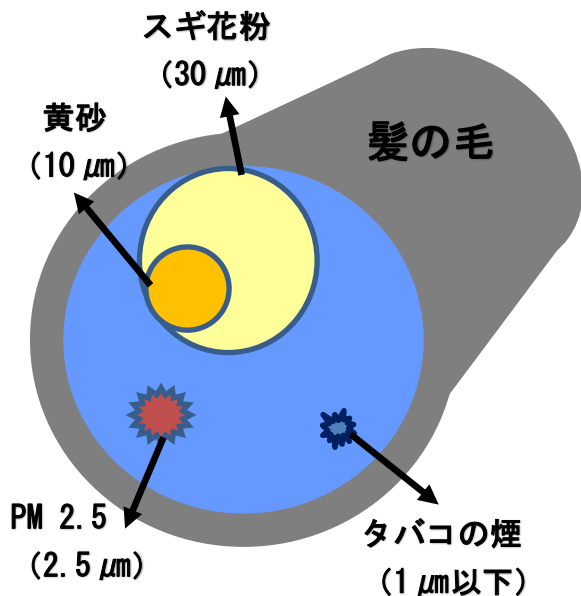
粒子がPM2.5よりかなり小さい

タバコの煙は、直径「 $1\mu\text{m}$ 以下」という大変微小な粒子

しかも！「発がん物質のかたまり」

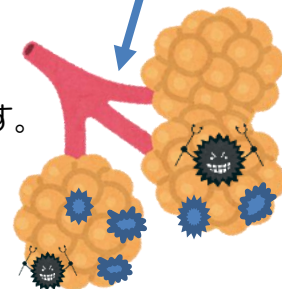
肺の奥深くまで侵入し、悪影響を及ぼします

< 粒子の大きさ(髪の毛との比較) >



肺の最深部(拡大図)

タバコの煙は、気管支を通過し、肺の最深部まで達します。慢性肺疾患や肺がんを起こす危険性が高まります



慢性閉塞性肺疾患(COPD)の主な原因は喫煙です。進行して息切れなど症状が重症化すると酸素吸入が必要になります。COPDを予防するには禁煙！しかありません。



COPD 患者の肺



非喫煙者の肺